

# これが我が社の SDGs推進!

vol.  
02

良質建築で持続可能な街づくり



01 板善建築様



環境配慮とCO<sub>2</sub>削減への挑戦



02 株式会社 敬心ライン様



女性の声から生まれた園芸用品の開発



03 カネコ総業 株式会社様



SDGs



知識と技術で建物を守る



04 有限会社 佐藤板金様



持続可能でよりよい世界を目指す国際目標“SDGs”の達成に向けて  
企業による取り組みをインタビューを交えて紹介します

次のページを  
ご覧ください

01

## 板善建築

建築業

新潟県見附市本所1-15-20  
TEL : 0258-62-3653  
FAX : 0258-77-0821  
<https://www.itazen-kentiku.com/>良質な建築を追求し  
持続可能な街づくりに挑戦する代表者息子 後継者  
板垣 隆太さん

## INTERVIEW

——会社のSDGs推進はなんで  
すか？健康と福祉に配慮した  
住み続けられる  
まちづくりを  
目指しています。

当社は、これまで自然素材やレジリエンス性をコンセプトとした住まいづくりに取り組んできました。高い断熱性能と太陽光発電の創エネルギー設備が備えられたZEHといった高性能な住環境を提案していくことで、ゴール3「すべての人に健康と福祉を」のみならず、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」に目標として掲げられてい



る大災害時の防災・減災においても有効になります。

また、高断熱化された住宅では、厳寒期において熱源がなくても、その室内は一定の温度に保たれた保温シェルターの役割を果たします。さらに、太陽光発電や蓄電池が設置されていれば、エネルギー的に自立した生活を送ることができ、自宅を避難所とすることができるのです。施主様を守る住環境を普及させていくことが、造り手の責任でもあり、持続可能な社会の構築に資すると考えています。

——その他に取り組んでいることはありますか？

気候変動に対して  
性能の高い住宅建築に  
取り組んでいます。

近年の建築費の高騰により、新築の建設に対して予算の厳しいお客様が増えています。建築費の高騰は様々な理由によって今後も続いていくと考えられるので、今は空き家や既存の建物を対象に、リ



フォームやリノベーションで住環境を整え、新築に比べ低コストでの建設を可能にするなど、住宅に限らず様々な建物を、環境にやさしく持続可能な方法で改良し、再利用するといった選択肢の普及にも力を入れています。また、建築・建設業界では職人不足や労働環境、現場労働者の賃金の低さといった問題が長年続いていて、このままでは深刻な事態を招く可能性が高いと言えます。現場労働者の環境や、企業の大量生産といった利益追求の考え方を改善しなければ、業界の未来が明るくなくなるとは考えられません。造り手の幸福を追求し、職人の価値を向上させ、業界を改革することを目指しています。

編集後記

今回のインタビューを通じて同社としてのSDGsの推進に対する取り組みや考え方を優しく・丁寧に教えていただきました。同社後継者である隆太氏は若く、今後の未来に向かっての業界のあり方や動向を真剣に考えていらっしゃる事がお話の中で感じられました。SDGs推進は同社の業務においても密接に関係している事をあらためて認識しました。



02

# 株式会社 敬心ライン

一般貨物自動車運送業（冷凍冷蔵車輸送）

新潟県見附市今町4丁目12-48  
TEL：0258-86-4560  
FAX：0258-86-4561  
■keishin38@outlook.com




## 環境保全に配慮した物流事業を目指して CO<sub>2</sub>の削減への持続可能な 取り組みへの挑戦



代表取締役  
島 和也さん

### INTERVIEW

——会社のSDGs推進はなんですか？

**13** 気候変動への対応  
 エコドライブの推進を通じて、燃料消費やCO<sub>2</sub>の削減に取り組み、環境保全に寄与していく。

当社は2023年8月に創業した運送業の会社です。当社は物流の仕事を通して皆さんの生活を支え、環境保全に貢献する企業でありたいと考えています。私たち運送業社は業種柄どうしても燃料消費とCO<sub>2</sub>の排出は避けられないため、この課題に対しての取り組みは行っていかなくてはならないものと考えています。その



ため当社では安全運転の実施とグリーンゾーン（エンジン回転数を抑えた燃費のいい運転）での走行の実施を全員に推奨し、車内で決めた目標数値を達成した社員には報奨金を進呈する社内制度を設けています。これにより、会社は不要な燃料の削減への効果が生まれ、従業員は取り組みに対しての評価を受けられたため、継続的な取り組みが実現されています。

——その他に取り組んでいることはありますか？

**3** ワークライフバランスの推進  
 「会社は人」社員のワークライフバランスの実現とやりがいを持って働き続けられる職場環境作りで社員一人ひとりが質の高いサービスの提供を。

私たちの業界の労働環境のイメージは重たい荷物の運搬で重労働、長距離運転できついとマイナスなイメージで敬遠される人も多くいると思います。そんな中



で当社は少しでも安心して働けるように従業員の傷害保険加入の保険料を全額負担し、労働時間外でも24時間のサポートを行っています。また、男性ドライバーの育児休業取得を推奨し、現在1名が育児休暇を取得しています。安心して働ける場、長く働ける場を目指し、従業員と向き合いながら働きがいのある職場環境づくりに今後も取り組んでいきたいと考えています。

編集後記

今回のインタビューを通じて従業員と一緒に目標に向かって進んでいく話を笑顔で話してくれた島社長からは、事業を通じての社会貢献への熱い思いが伝わってきました。SDGsへの取り組みは周りの人々を幸せにしていくものだなと感じました。



03

## カネコ総業 株式会社

園芸用品・土農用具・木製品製造業

新潟県三条市大面65

TEL : 0256-45-2249

FAX : 0256-45-5036

http://kaneko-sougyo.com/



## 女性の声から生まれた 園芸用品の開発

お客様に愛される商品開発で日本の農業拡大に貢献する。



代表取締役社長  
金子 薫さん

### INTERVIEW

——会社のSDGs推進はなんですか？



**女性にも扱いやすい  
商品開発で  
「農業女子プロジェクト」を  
サポート**



当社は、園芸用品、木製品の製造メーカーですが、農林水産省の推進でスタートした「農業女子プロジェクト」に参画しています。「農業」と聞くと男性の仕事というイメージがあるかもしれませんが、実は農業従事者の約半分は女性で占められています。当社も女性社長のもと、従業員も女性の方が多く、以前から女性にも扱いやすい製品を提供したいという思いがありました。そこで、日本全国の農業女子の皆様のご意見を参考に開発させていただいた製品が“Lacuno (ラクーノ)”シリーズです。軽量化や

グリップの改良により「今までになかった」製品として女性だけではなく、ご高齢の方々からも大変ご好評をいただいています。今後も農業女子メンバーの要望した製品の開発に取り組み、私たちメーカーと全国の農業女子の方々を心を通わせあう製品づくりをしていきたいと考えています。命の源をはぐくみ、未来へつなぐ農業は、本当に素晴らしい仕事だと思います。

——その他に取り組んでいることはありますか？



**資源利用の効率化、  
最大化に取り組んでいます。  
生産過程での**



**廃棄物の削減に  
取り組んでいます。**

当社では今年から新たにメンテナンス部門を立ち上げました。お客様が使用した商品は、刃研ぎ、柄入れ整備等を行うことで、さらに長期間の使用が可能になります。また、製造工程の中で



うしても発生してしまう端材についても、別商品への再利用に取り組んでいます。ものづくり企業として、つくる責任と同時に環境への配慮を常に会社の方針として考えています。



今回のインタビューを通じて、SDGs推進の取り組みについての考え方や当社が実施していることを優しく、丁寧に教えていただきました。実際に商品を手に取ってみると、女性に使いやすい農具であることを実感しました。女性や高齢者など、常に使う人の気持ちになって真剣に商品開発に取り組んでいる姿勢に感銘を受けました。



04

# 有限会社 佐藤板金

建築板金業

新潟県三条市上保内乙302番  
TEL : 0256-38-3627  
FAX : 0256-38-0347  
https://satobankin.com/  
for-nine@echigo.ne.jp



## 知識と技術で建物を守る

伝統的な技術と最新の手法を融合し、  
地域雇用の創出と地域の活性化に貢献します。



代表取締役  
佐藤 真也さん

### INTERVIEW

——会社のSDGs推進はなんで  
すか？



働きがいも経済成長も

当社は、従業員一人ひとりが健康で生き生きと仕事に取り組み、知識や技術を向上させていくことで地域に貢献できる企業になれると考えています。従業員の働きやすい職場づくりのために、常に労働環境の向上を意識しています。具体的な取り組みとしては、健康



経営を意識した全従業員の健康管理を行っています。また、風通しの良い職場作りを目指し、様々な年代の従業員の声を積極的に取り入れるために全体会議を月1回開催し、全員で話し合う機会を設けています。定期的な慰労会や研修旅行を通じて従業員同士のコミュニケーションも図っています。従業員の技術力向上のために技能検定を積極的に受けやすい体制づくりや、資格取得後の賃金のベースアップも確立しています。

——その他に取り組んでいることはありますか？



住み続けられるまちづくりを



気候変動に具体的な対策を

当社は、遮熱材リフレクティックス施工を積極的に取り入れており、建物のエネルギー効率を上げ、ランニングコストを下げることでCO<sub>2</sub>排出量を減らし、省エネ低炭素化の促進を行っています。リフレク



ティックスは、宇宙産業分野にも活用されている素材で、一般的な断熱材と違い、熱を反射する仕組みであるため外からの冷気や熱線を反射し、室内の冷気や暖気はガッチリと逃がさないという仕組みです。正確な施工をしないと十分な遮熱効果が得られないため、従業員は必ず研修や講習を受けた上で施工をしています。新たな素材や施工方法に取り組むことで、住み心地の良い家づくりや働く人が快適に仕事の出来る労働環境づくりに貢献することを目指しています。



編集後記

今回のインタビューを通じてSDGsの推進に対する取り組みや考え方を優しく・丁寧に教えていただきました。佐藤社長は常に従業員のことを考えられていて、コミュニケーションやスキルアップを大切にされていました。SDGs推進が、企業の発展・地域社会への貢献、従業員が生き生きと働ける職場へ繋がっていると感じました。



# SDGsとは？

誰ひとり取り残さないために、世界で取り組む**17**の共通の目標

 <b>1</b> 貧困をなくそう	 <b>7</b> エネルギーをみんなに そしてクリーンに	 <b>13</b> 気候変動に 具体的な対策を
 <b>2</b> 飢餓をゼロに	 <b>8</b> 働きがいも 経済成長も	 <b>14</b> 海の豊かさを 守ろう
 <b>3</b> すべての人に 健康と福祉を	 <b>9</b> 産業と技術革新の 基盤を作ろう	 <b>15</b> 陸の豊かさも 守ろう
 <b>4</b> 質の高い教育を みんなに	 <b>10</b> 人や国の 不平等をなくそう	 <b>16</b> 平和と公正を すべての人に
 <b>5</b> ジェンダー平等 を実現しよう	 <b>11</b> 住み続けられる まちづくりを	 <b>17</b> パートナーシップで 目標を達成しよう
 <b>6</b> 安全な水とトイレ を世界中に	 <b>12</b> つくる責任 つかう責任	

## Sustainable Development Goals

【持続可能な】

【開発】

【目標】

SDGsとは、2015年に国連加盟国によって総会決議された持続可能な17の開発目標のこと。2030年までにこれらの目標の達成を目指しています。国際機関や政府だけでなく、企業、市民社会、子どもを含めたすべての人が目標達成することが求められています。

### けんしんSGM |グループ

#### 新潟県信用組合 見附支店

〒954-0057 見附市新町1丁目1番7号 ☎0258-62-2271

#### 新潟県信用組合 今町支店

〒954-0111 見附市今町1丁目14番32号 ☎0258-66-3181

#### 新潟県信用組合 三条支店

〒955-0071 三条市本町4丁目4番48号 ☎0256-33-2561

#### 新潟県信用組合 三条東支店

〒955-0047 三条市東三条2丁目3番5号 ☎0256-35-3155

#### 新潟県信用組合 中之島支店

〒954-0124 長岡市中之島565番地83 ☎0258-66-3320

けんしん/  
**SGM**  
活動 ソリューション活動  
地域貢献活動

### Small Group Management

全店を地域ごとに10グループに編成し、各グループが地域の特性を踏まえた高密度な営業活動と地域貢献活動を行っています。

1グループでは、ソリューション活動として情報誌を発刊し地域事業者のSDGs推進による元気なまちづくりに取り組んでいます。

【取材・発行】けんしんSGM活動 |グループ



新潟県信用組合

